

留学を終えて

聖マリア女学院高等学校 吉田 仁胡（ニュージーランド）

私は1年間 New Zealand に留学しました。この1年間は、私にとって自分自身を大きく変えるとともに、大きく成長することができた貴重な経験となりました。これまでとは異なる環境の中で生活する中で、困難に直面することも多くありましたが、目標としていた「自立」と「英語力の向上」を達成することができたと感じています。

渡航したばかりの頃は、自然に英語をほとんど話せず、翻訳機を使いながら会話をしていました。自分の思いをうまく伝えられず、積極的に話しかけることができないこともありましたが、何度も挑戦を重ねる中で、少しずつ自信を持って話せるようになりました。自分の目標を何度も見詰め直し、英語力の向上に向けて努力を続けました。

現地の学校では、日本とは異なり、自分で授業を選択するシステムで、最初は友達作りに悩むこともありましたが、しかし、自分から積極的に話しかけることを意識したことで、多くの友人と出会うことができました。Waitākere College での生活を通して、様々な国から来た生徒と関わり、多様な文化や価値観に触れることができました。ときにはカルチャーショックを受けることもありましたが、お互いを理解し尊重することの大切さを学びました。また、もともと中国語に関心を持っていたので中国語の授業をとり、英語と両立しながら中国語の勉強に励みました。

ホストファミリーとの生活も私にとって大きな学びとなりました。最初は不安もありましたが、日々のコミュニケーションを大切にすることで関係を深め、家族の一員として受け入れてもらうことができました。日本について知ってもらうために、私はオムライスや照り焼き、お寿司などの日本料理を振る舞い、一緒に作る時間も大切な思い出となりました。

Term 3 からはボランティア活動にも参加しました。動物と触れ合いながら世話をしたり、お客様への接客を経験したりする中で、最初はうまく対応できず失敗することも多くありましたが、周りの方に教えていただきながら練習を重ね、徐々に自信を持って行動できるようになりました。また自分から積極的に声をかけることの大切さにも気づきました。



部活動ではテニスとバドミントンに参加しました。言語の違いにより最初はいくくコミュニケーションが取れないこともありましたが、スポーツを通して自然に会話が生まれ、交流を深めることができました。日本とは異なり、勝敗だけでなく楽しむことを大切にする雰囲気も印象的でした。

この1年間で留学経験を通して、困難な状況でも諦めずに努力し続ける力と、自ら行動することの大切さを学びました。この経験を今後に活かし、さらに成長していきたいと考えています。

